

自公政権に決定的な審判を！自公政治に代わる新しい政治の選択を！

——国会解散にあたっての訴え——

「近所の(御通行中の)みなさん、日本共産党です。

国会が解散されました。来月八月十八日公示、三十日投票で、待ちに待った衆議院選挙が行われます。日本共産党は、今度の選挙を、有権者のみなさんといっしょに、自民・公明政権に決定的な審判をくだす選挙として、また、自公政治に代わる新しい政治はどうあるべきか、二十一世紀の日本の針路が問われる選挙として、全力でたたかい抜く決意です。

政治を変えたいという皆さんの熱い思いを、日本共産党にお寄せください。政党を選ぶ比例代表選挙では、日本共産党を伸ばしてください。(小選挙区では、〇〇〇〇ががんばっています。よろしくお願いします。)

みなさん。

八月十八日公示、三十日投票で行われる、総選挙は、自公政権を終わらせる、決定的な「審判」の選挙です。「ハケン切り」・「非正規切り」など、「人間使い捨て」を横行させ、医療や年金・介護など社会保障の不安ばかりをふくらませ、大資産家と大企業へのゆきすぎた減税の一方で、国民には耐えられないほどの負担を押しつける——こういう政治には、もう我慢ができません。

米軍基地の強化に国民の税金を使ったり、自衛隊の海外派兵を推進して、憲法まで変えようという政治は、外交の力・話し合いの力でもめ事を解決する、新しい世界の流れには合いません。

日本共産党は、自公政権が進めた、こうした異常な財界・大企業中心の政治と、「軍事同盟絶対」の政治をキッパリと批判して、どんな問題でも、国民の利益にたつて頑張ってきました。

日本共産党を伸ばすことが、自民・民主の「大連立」などで、自公政治が息を吹き返すのを防ぐ、一番の道・決定的な道ではないでしょうか。

政党を選ぶ比例代表選挙では、是非、日本共産党を大きく伸ばしてください。よろしくお願いします。
みなさん。

今度の選挙は、自公政権を終わらせた後に、どのような新しい政治をつくるのか、二十一世紀の「日本の進路」が問われる選挙です。

民主党中心の政権ができる可能性が大きいといっても、肝心の民主党が、「官僚支配の打破」を繰り返すばかりで、日本の、経済と外交の改革を、どのように進めるのかが見えてきません。その一方で、消費税増税や憲法九条の改定、衆議院比例定数の削減など、重要な問題で、危険な方針を明らかにしているのは、見過ごすことができない事実ではないでしょうか。

日本共産党は、みなさんの切実な願いを実現することを第一にして、政治の舵取りを切り換えます。

その「進路」は、第一に、国民の生活と権利を守る「ルールある経済社会」を築く、そのために、異常な財界・大企業中心の政治を転換することです。

第二は、憲法九条を生かして、世界とアジアの平和に貢献する「自主・自立の平和外交」に転換する、そのために、異常な「軍事同盟絶対」の政治から抜け出すことです。

こうした、新しい日本への展望を示す日本共産党が伸びることこそ、自公政治に代わる新しい政治を切り開いていく上で、一番の力になるのではないのでしょうか。

政党を選ぶ比例代表選挙では、是非、日本共産党を大きく伸ばしてください。よろしくお願いします。
みなさん。

総選挙の結果、政権交代が現実のものになった場合でも、日本共産党は、国民の利益にたつて、建設的な野党として大奮闘しようと、今から決意をみなぎらせて頑張っているところです。

日本共産党は、建設的な野党として、国民のみなさんと力を合わせて、三つの仕事に取り組みます。

第一は、みなさんの要求実現のために、一致点で協力して、政治を前に動かす「推進者」の仕事です。労働者派遣法の抜本改正や後期高齢者医療制度の撤廃、農産物の価格保障と所得補償、核兵器廃絶のイニシアチブ、企業・団体献金の禁止などに、総力をあげます。

第二は、消費税増税や憲法改定、衆議院比例定数の削減など、危険な政策の具体化を許さないで、「防波堤」となって働くことです。

第三は、「国民が主人公」の立場に立った民主的な政権・民主連合政府をつくるための、議論と取り組みを進める仕事です。

どんな問題でも、一致点での政党間協力を追求して、国民的な議論と運動・世論の力で政治を動かすのが、日本共産党のモットーです。

衆議院選挙は、ひとり二票投票する選挙です。政党を選ぶ比例代表選挙では、日本共産党を大きく伸ばしてください。(小選挙区では〇〇〇〇をよろしくお願いします。)ありがとうございました。